

今月の市民記者
古川 裕倫さん



今年から市民記者に参加。民間企業で培ったさまざまな経験を生かして、地元池田の魅力発信に貢献するため筆を執る。人材育成やダイバーシティにも精通し多数の著書も出版。

池田市民記者が行く!

市民が池田市の魅力をレポートする“市民記者”として、地元・池田の情報を発信します。

取材先

五月山動物園

五月山動物園のウォンバット

五月山の麓にある五月山動物園は、多くの市民に知られています。同園は日本で2番目に小さな動物園だそうです。児童・幼児の自然学習や情操教育の一環として昭和32(1957)年に作られ、60年以上の歴史があり、開園以来無料で運営されています。

これまで何人の子もたちがこの動物たちを見て目を輝かせたでしょうか。これからの小さな動物園が、たくさん子どもたちの好奇心や想像力を育てていくことでしょう。大人は施設の大きさや動物の数に意識がいくかもしませんが、そんなことにはわれない子どもたちは、さまざまな発見をするはず。ぜひ一度、連れて行っていただきたいと思っています。



こここの動物たちの中に、現在

4頭のウォンバットがいます。ウォンバットは、有袋類の動物。地面に3〜9mほどの巣穴を掘り、昼間は巣穴にいる夜行性です。体重は25kgほどになり、時には時速40km近くで走れるといわれています。草木の根や樹皮を食べますが、動物園ではサツマイモ、ニンジン、カボチャ、リンゴ、青草、干し草などを与えられています。

かつてはオーストラリア全土に生息していましたが、農地や都市開発とともに、生息数が減少し、絶滅が危惧されています。現在はオーストラリア南東部と、南東にあるタスマニア島に生息しています。

夜行性ですが、朝夕のエサやり時には、お目にかかれるチャンスが高いと聞き、私も午前9時半に行って実物を拝見してきました。思っていたより大きくガッチリしていました。胴の長さに比べて足が短いズングリむっくりの姿がなんとも愛らしかったです。

日本全国で6頭しかいないウォンバット、本市に4頭もいるのは、タスマニア島にあるローンセストン市が大きく関



係しています。本市とローンセストン市の住民同士の文通から、昭和40年に両市が姉妹都市となり、本市にウォンバットが贈られました。

フリーカメラマンの相原正明さんにもお話を伺いました。相原さんは、若い頃、オートバイでオーストラリアの砂漠縦断旅行をして、そのままオーストラリアのとりことなったそうです。その後、頻りに日豪を行き来されています。オーストラリアの自然をこよなく愛し、タスマニア州観光大使でもある相原さんには、ウォンバットの姿を撮った素晴らしい作品がたくさんあります。

今年3月には、阪急池田駅構内にあるギャルリVEGAで、相原さんのウォンバット写真展が開かれました。相原さんによると、野生のウォンバット

がいる自然公園内の湿地帯で撮影する際には、他地域からの植物の種や細菌を持ち込まないように、靴を入念に洗浄しないといけないそうです。オーストラリアは、自然保護に厳しく、動物の海外持ち出しにもたくさん規制があります。そんな中、本市にウォンバットが来れたのは、まさしくローンセストン市のおかげなのです。

なお、本市には、夏休みに毎年3人程度、本市在住の高校生をローンセストン市にホームステイさせるプログラムがあります(令和2年度は中止)。グローバルな人材が求められる今の世の中で、素晴らしい企画だと思います。

安心安全で住みやすい池田市にこのような可愛い動物がいることをもっとアピールしていきたい。今後の定住人口の増加にもつながっていくことを願います。

お問い合わせ

五月山動物園
開園時間:
午前9時15分〜午後4時45分
休園日:火曜日
連絡先 同園 ☎753・2813